三年が経過した被災地、福島県浜通りを舞台に
心の回復と再生を描いた話題の短編映画！

みんながおまえたちを見守っている。
いつだって、そばにいる。
いつだって一緒に生きている。
だから、こわくてもつらくても、少しずつでも
お母さんが大好きだった海の方を向くんだ…

みんな生きている

撮影協力　いわき市立豊間小学校・食工房いろは食堂・おのざき平鮮場店
中之作プロジェクト・真言宗智山派修徳院・いわき市豊間区
薄磯区・沼ノ内区・新常磐交通・いわき市教育委員会・富岡町
制作委員会　フォア・ザ・ワン・プロジェクト／サン映像企画

上映時間30分	[C#7499]
DVD 本体価格 66,000円(税抜)	

東映株式会社　教育映像部
〒104-8108　東京都中央区銀座3-2-17
http://www.toei.co.jp/edu/

みんな生きている

企画意図

東日本大震災から3年が経過しました。多くの人々が受けた心の傷…。時間の経過とともに、被災の記憶が風化されていく中、いま、心の見守り、手当は十分といえるでしょうか。被災地に限らず、心に傷を抱えた人々、ケアする人々、すべての人々に求められる回復への問い。それは何なのか…。その問いから生まれた作品です。

内容

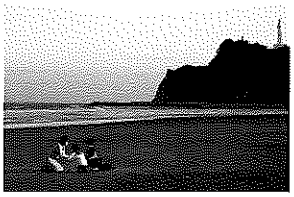
震災で母、里子を亡くした俊太と仁美。里子を失った悲しみから心が不安定となり、いなくなった父、芳雄。両親がいなくなり、震災孤児となった俊太と仁美は、被災し、借り上げ住宅に住んでいる里子の姉、弓子の家に引き取られた。だが、避難生活が続く弓子も、震災後、痴呆になった母、菊枝の世話や生活に追われ、俊太と仁美の心の傷に十分に目が届いていなかった。

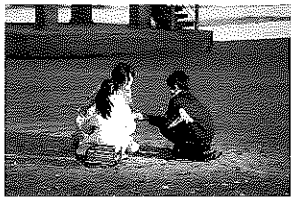
そんなある日、スクールバス乗り場まで送ったはずの俊太と仁美が学校に登校していないという連絡が入る。学校にかけつけた弓子が担任の山口、今井から示されたのは、破れ、テープで貼りあわされた、仁美が描いた家族の絵だった。そして、絵を破いたのは俊太と告げられる。

震災から時間が経過する中で、弓子は、次第に俊太と仁美の気持ちが読めなくなっていた。

仁美は最近になって、亡くなった母、里子を見たと度々言うようになっていた。「そんなおかしなことといってたら、みんなから笑われるでしょ!」。その度に、弓子は、仁美を叱りつけていた。俊太はそんなときにも感情を表せず、何を考えているのかわからない…。

妹の死、母の痴呆、そして、震災後変わってしまった生活…。弓子は、過去の記憶と傷から逃れるために、妹や母、家族の思い出を不幸な記憶にして忘れようとしていた。だが、それは自分たちを置いていなくなった父への恨みを持ち続ける俊太も同じだった。俊太と仁美の姿は、弓子に自分の中にある悲しみを振り返らせてしまうのだ。それが意識せずに、二人への虐待になろうとしていた。





俊太と仁美がいなくなったのは、絵を破ってしまった俊太が仁美のために、亡くなった母を探そうとしていたのだ。しかし、どこにいけばわからないまま途方にくれていた。そのとき、父、芳雄の親友、高木と会う。高木は、芳雄と自分が育ち、いまは津波と原発事故で避難地域となった町や両親が出会った、サーフィン仲間がよく通っていたラーメン店に二人を連れていく。そして、父と母の出会い、二人が生まれた経緯、いなくなった芳雄や痴呆になった祖母、菊枝、そして、叔母、弓子にもある、二人と同じ、心の傷について語る。

高木は「どこにいたって、みんな、おまえたちを見守っている。いつだってそばにいる。いつだって一緒にいる。だから、こわくても、つらくても、少しずつでも、お母さんが大好きだった海の方を向くんだ」と、二人にいまを生きることの大切さと、それをみんなが願っていることを告げ、いなくなる。じつは、高木も里子と同じように、この世の人ではなかった…。

高木の言葉に促され、自分の足で歩いていくために、母、里子と別れをしなくては…そう感じる俊太と仁美。そして、二人は、いままでこわくて近づけなかった、海の方へ歩き出す。

通報を受け、町の人や学校職員と二人を探していた弓子は、被災した海岸で二人をみつける。そして、弓子は、そこに、仁美がいっていたように、亡くなった妹、里子の姿を見るのだ…。

家族の絵を破いた俊太と同じように、過去をいやな思い出だけにして忘れようとしていた弓子。だが、そのとき、その記憶に心をいやされ、励まされている自分に気づくのだった…。

監督・脚本　秀嶋賢人

企画・制作・著作　フォア・ザ・ワン・プロジェクト
http://www.hideshima.co.jp

2014年作品

p.

関東営業推進室　東京都中央区銀座3-2-17　〒104-8108　☎03－3535－3631
関西営業推進室　大阪市北区梅田1-12-6　〒530-0001　☎06－6345－9026
広島出張所　広島市中区橋本町5-2　〒730-0015　☎082－511－2066
福岡出張所　福岡市博多区中洲4-3-18　〒810-0801　☎092－262－3101

●お買い上げは……